

# 第11期事業計画

2014年10月1日から2015年9月30日まで

特定非営利活動法人ニンジン

## I. 事業実施の方針

モンゴル障がい児療育支援事業については、2014年春に専門家のチームで3度目のモンゴル訪問をして、障がい児保護者の会を中心に、期間中に医師が診た障がい児33人について聞き取り調査を行い、保護者の会でその結果の概要報告を行った。保護者の会では何人かの地区担当リーダーにより、自主保育の場づくりや調査に向けての活動が始まっている。

今年度は、2015年4月～5月に専門家が訪問し、昨年の実態調査の詳しい報告説明会と今後へ向けての啓発を行う。保護者の会のメンバーを日本に招へいし、障がい児の発見、療育の仕組みなどを実際に視察する機会を設け、保護者の会の活動への支援とする。

今後、モンゴルでの療育支援を本格的に展開するために、新たな体制をつくり検討する。

タイについては、北タイのNGO・ルデラ（ラフ農村開発）と協力し、北タイへのスタディツアー、高校生のスタディツアーコーディネートを継続実施する。

## II. 事業計画

### 1. 海外との協力事業

#### (1) モンゴル障がい児療育支援

##### ア. 専門家訪問団

実施時期：2015年4月27日(水)～5月6日(水) 10日間

訪問団メンバー：医師、理学療法士、保健師、車いす技術者等、事務局

予定地域：ウランバートル市内、障がい児保護者の会、

内 容：2014年実施の実態調査についての報告説明会、要請による診察相談、保護者むけセミナー、車いすの調整配布他

##### イ. 保護者の会招聘研修（助成金次第で決定）

モンゴルから障がい児保護者、関係者を招聘して、乳幼児健診、診断～療育への仕組み、療育の現場、特別支援学校等を視察する研修を行う

招聘期間：2015年6月15日(月)～22日(月)の7泊8日

招聘人数：8人

訪 問 先：練馬保健所(乳幼児健診から早期発見への動き)

都立北医療療育センター、障がい児幼児教室、

都立特別支援学校、障がい児保護者の団体との交流、他

#### ウ. 使用済み車いすの収集と配布

心身障害児総合医療療育センター、株式会社ゼット本社他の協力をいただき、モンゴルで専門技術者が採寸した希望者を対象に、JICAの「世界の笑顔のために」プログラムを通し、また訪問時に運び、フィッティングして渡す。

#### エ. JICA 草の根パートナーズで療育支援の展開を検討する

今後、現地で継続的に療育を支援するために、新しく体制を組み、JICA 草の根技術協力事業(草の根パートナー型)に応募して取り組むことを検討する。  
担当：吉濱信恒さん、諸石真理子さん、梅村浄さんが中心となる。

#### オ. 事業報告会の開催

モンゴル支援事業の支援者を増やすことを目的として、報告会を開き、活動の紹介・報告をする。あわせてモンゴル音楽を楽しんでいただく。

実施日時：2015年7月3日(金) 19:00～21:00

会 場：ルーテル市ヶ谷センター (東京・新宿区)

### 2. 海外の障がい児者等との交流事業

#### (1) モンゴル交流ツアー

##### 『第10回モンゴル交流ツアー』の実施

モンゴルの障がい児と交流し、併せてモンゴルの大自然に触れるツアーを実施する。

実施時期：2015年8月3日(月)～8月10日(月) (予定) 7泊8日

募集人数：10人～15人

訪 問 先：ウランバートル、障がい児保護者の会、他

#### (2) タイ交流ツアー

##### ア. 『北タイ・焼畑の村スタディツアー』の実施

北タイをベースにラフ族の人びとを主として支援してきた NGO ルデラの森の復活と農民の自立を組み合わせた取り組みに学び、生活文化にふれるスタディツアーを実施する。

実施時期：2015年2月11日(水)～18日(水) 7泊8日

募集人数：10人程度

訪 問 先：チェンライ県メーソアイ郡ホイナムクン地区ローチョ村

##### イ. タイへ高校生のスタディツアーのコーディネート

東京の私立・順天高校が行うタイ修学旅行の北タイ滞在期間について協力し、さまざまなハンディを抱える人々、また同世代の青少年と出会い交流するスタディツアーの企画・コーディネートを行う。

実施時期：2015年7月下旬～10日間程度

受入人数：順天高校より、生徒及び引率教員 20 人程度

内 容：＜チェンライ＞山岳少数民族ラフ族の村の生活体験、研修農場での体験、子ども寮での交流、＜パヤオ＞学校訪問、ホームステイ＜チェンマイ＞HIV/AIDS 関連の活動、ストリートチルドレン関連施設などの訪問、視察交流、象乗り

協 力 者：ダイエー・セイリ氏（チェンライ）、川口泰広氏（チェンマイ）

### 3. 啓発事業

#### (1) アジア諸国の障がい児・者及び少数民族支援等に関する啓発セミナー等の開催

モンゴルから招へい研修で来日中の障がい児保護者の会のメンバーを迎えて、公開セミナーを開き、あわせて交流する。

実施時期：2015 年 6 月

内 容：(予定) モンゴルの障がい児の療育の実現に向けて

### 4. 文化交流事業

#### (1) モンゴル文化紹介

モンゴル支援事業報告会をもってあてる。

### 5. 情報提供事業

#### (1) インターネットによる情報提供

ホームページおよびブログ他による情報発信に努める。

#### (2) ニュースレター、Eメールニュース（「ニンジン・アップデート」）の発行

### 6. 組織運営

#### (1) 会議の開催

ア. 通常総会の開催（年 1 回）

日 時：2014 年 11 月 29 日（土）

会 場：ワンデイオフィーストーキョー Tel:03-6300-6011

（東京都渋谷区代々木 1-38-7 川本ビル 4F）

イ. 理事会の開催（年 2 回）

ウ. 運営委員会の開催

理事および会員有志からなる運営委員により、事業実施の詳細を決め、実施する。

#### (2) 財源の確保

組織の安定した財政基盤を築くため、会員の拡大、寄付等財源確保に努める。

#### (3) 事務局業務の分担

役割の分担を進め、事務局機能の充実を図る。

#### (4) ニンジン・サポーターズ倶楽部

会員資格の有無を問わず、ニンジンの活動をサポートするボランティアを募り、車いすの清掃やコンサートやイベント出展のスタッフなど、活動への参加を呼びかけ、輪を広げる。

第11期 活動予算書  
2014年10月1日～2015年9月30日まで

特定非営利活動法人 ニンジン  
(単位:円)

科 目	金 額		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
個人正会員受取会費	400,000		40人
団体正会員受取会費	60,000		2団体
個人賛助会員受取会費	132,000		44口
団体賛助会員受取会費	60,000	652,000	2団体
2 受取寄附金			
モンゴル支援事業受取寄附金	250,000		
一般寄附金	300,000	550,000	
3 モンゴル支援事業助成金			
助成財団	900,000		
一食平和基金助成金	1,200,000	2,100,000	
4 事業収益			
事業収益	6,185,000	6,185,000	
5 その他収益			
受取利息	50	50	
経常収益計		9,487,050	
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	120,000		
人件費計	120,000		
(2)その他経費			
諸謝金	684,000		
印刷製本費	19,000		
会議費	60,000		
渡航費	2,188,640		
旅費交通費	2,499,000		
滞在費	2,790,000		
輸送費	78,000		
通信運搬費	42,000		
研修会教材費	100,000		
消耗品費	11,100		
教材作成費	108,000		
材料費	180,000		
賃借料	91,900		
保険料	0		
研修費	10,000		
支払手数料	3,000		
雑費	0		
その他経費計	8,864,640		
事業費計		8,984,640	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
印刷製本費	26,000		
会議費	15,000		
通信運搬費	100,000		
消耗品費	100,000		
地代家賃	240,000		水道光熱費を含む
諸会費	10,000		
支払手数料	5,000		
その他経費計	496,000		
管理費計		496,000	
経常費用計		9,480,640	
当期正味財産増減額		6,410	
前期繰越正味財産額		1,372,033	
次期繰越正味財産額		1,378,443	